

新たな展開に向けて

令和2年5月20日(水)

流山市立おおたかの森小学校 校長 西村 淳

保護者の皆様、地域に皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。



昨日19日に流山市教育委員会から出された基本方針のもと、明日の政府の判断から、分散登校という形での学校再開となります。

本校では、感染対策のため分散登校および時差登校を併用して行う予定です。詳細については、

22日(金)

「おおたかの森小学校分散登校の体制について」を午前中に、「各学年の持ち物等について」「預かり学級について」は、午後

に、HPに順次掲載いたします。

掲載する際は学校メールにて周知いたしますので、よろしくお願いたします。

先日あるラジオ番組で、感染症の専門のお医者様が、「人類の歴史は感染症との闘いであった。この新型コロナウイルスの状況も必ずワクチンや新薬が開発され終息する。安心といえる段階を100段だとすると、今90段は上ってきたとあってよい。あと少し緩まずに丁寧に対応していくことが大切である。痛みと心配は医療を進歩させる大切な要素である。痛みによって人は病気を認識することができる。心配によって慎重に対応することができる。

る。あまり恐れすぎず生活することが肝要である。」という内容のことをおっしゃっていました。分散登校となると心配事項も多くなりますが、国・県・市から出される予防に向けた取り組みを徹底しながら教育活動を少しずつ進めてまいりたいと考えています。

- ・ 毎日体温を測り、家族内の健康状態も把握する。
- ・ 体調不良であったら無理をして登校しない。
- ・ マスクを着用したり、3つの密に気をつけたり、そしてソーシャルディスタンスに配慮して学校生活を送ったりすることを指導する。

このようなことを、ご家庭と学校が共通理解し、連携して子ども達に呼びかけることが大切なのだと感じています。

保護者の皆様や地域の皆様に子ども達の様子を参観していただくのはもう少し先になると思います。職員一同全力で対応してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

校長室から校庭を見ると、預かり学級の子ども達が、互いの距離を考えながら遊んでいます。心温まる光景です。この様子が一日でも早く日常になることを願っています。

